

令和5年度 ゆりのき台小学校学校経営方針

1. 学校経営の基本理念

『豊かな人間性と創造性を備えた人間の育成』を目指し、義務教育の目的である「各個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基礎を培い、また、国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養うこと（教育基本法第5条第2項）」を達成するために、教職員が**組織の一員としての自覚と責任と情熱**を持ち、児童理解に努め、**学校教育目標の具現化**に向けて**協働して職務に励む**とともに、**新学習指導要領をふまえた教育課程の円滑な実施**にむけて、学校全体での取り組みを推進する。あわせて、状況が大きく変化する**新型コロナウイルス感染症への対応**や**大規模校が抱える課題への対応**を継続し、安心・安全の学校づくりに取り組む。また、**令和6年度に創立30周年を迎える本校**であるが、**三田型コミュニティ・スクールから法に基づくコミュニティ・スクールへの転換を契機**として、さらに**家庭・地域との連携・協働体制の充実**を図り、**地域とともにある学校づくりにむけた取り組みを進める**。

2. 学校教育目標

「 **やさしく かしこく たくましく** 」

～豊かな自分づくり と 共に生きる人間 の育成～

3. めざす学校の姿

- 子どもが安心して過ごし、自信と意欲をもって学ぶことを楽しめる学校
- 豊かな人間性・創造性を育み、互いを尊重し合い、高め合える学校
- コミュニティ・スクールとして、家庭・地域と連携・協働しながら子どもを育てる学校

4. めざす子どもの姿

《やさしく》

- 礼儀を大切にし、しっかりあいさつができる子
- 思いやりや感謝の気持ちをもって、人を大切にできる子

《かしこく》

- 目標にむかって、最後まで粘り強く取り組む子
- 自ら進んで学び、生活の中で活かそうとする子

《たくましく》

- 健康のために生活習慣を整え、進んで運動する子
- 安全に気をつけて、自分の命や体を大切にする子

5. めざす教師の姿

- 教育者としての使命と責任を自覚し、豊かな人間性の涵養と実践的指導力の向上に努める教師
- 教育的愛情を持って子どもに接し、内面的理解と信頼関係の構築に努める教師
- 自己の健康管理、業務改善に努めながら、協働して教育実践、課題解決等に取り組む教師

6. 重点項目

- ①確かな学力の育成→「身につけさせたい資質・能力の定着にむけた授業改善、校内研究・研修の充実、ゆりのきスタンダードの定着、ICT 機器の効果的な活用」
- ②人権教育・道徳教育の充実→「いじめの未然防止・早期発見・早期対応、不登校対応、道徳性の育成」
- ③社会に開かれた教育課程の実現→「『ゆりのきプラン』の充実、自立につながるキャリア教育の推進」
- ④特別支援教育の充実→「個に応じた指導・支援の充実、児童への理解啓発、保護者との連携、ユニバーサルデザインに配慮した環境づくり・授業づくり、教職員間の連携」
- ⑤GIGAスクール構想に基づく教育の充実→「タブレットPC活用の実践的研究の推進、計画的な情報モラル教育の実施」
- ⑥生活指導の充実→「ゆりのきスタンダードの定着、安全・防犯教育、感染症・熱中症等への対策」
- ⑦学校評価を核としたPDCAサイクルの推進→「児童・保護者・職員アンケートの実施、学校だよりの発行」
- ⑧家庭・地域との連携・協働→「学校運営協議会、PTA・地域と連携した学校支援活動・体験活動の充実」